

日本英語学会第39回大会（オンライン開催）スケジュール・プログラム

日時：2021年11月13日（土）・14日（日）

会場：Zoomによるオンライン開催

11月13日（土）

9:30 ～ 11:45	ワークショップ／スチューデント・ワークショップ
12:00 ～ 12:50	総会
13:00 ～ 15:50	研究発表
16:00 ～ 18:45	公開特別シンポジウム

11月14日（日）

9:30 ～ 12:10	シンポジウム
13:10 ～ 15:25	特別講演

11月13日（土）

ワークショップ

午前（9:30～11:45）

第1室

「コピーに関わるメカニズムと経験的帰結

企画者：田中祐太（中部大学）

第2室

「Strong Minimalist Thesis を満たすUGの説明理論：その輪郭と概念的根拠」

企画者：小町将之（静岡大学）

第3室

「認知文法の基礎研究」

企画者：佐藤らな（東京大学大学院／日本学術振興会）

スチューデント・ワークショップ 午前（9:30～11:45）

第4室

“Tense and Intention”

企画者：Takako Nakaike (Otaru University of Commerce)

ワークショップのプログラムは応募された企画書に基づくものです。

正式なタイトル、発表者については別紙のワークショップ・プログラムをご覧ください。

開会式・総会・授賞式

午後（12:00～12:50）

午後（13:00～15:50）研究発表

研究発表第1室

- | | | |
|-------------|-----------------|--|
| 13:00-13:35 | Ryosuke Hattori | “Acquisition of Degree Abstraction: Seeking Evidence from IPL” |
| 13:45-14:20 | 戸鹿野友梨 | 「接頭辞 <i>out-</i> が付加した動詞の新しいタイプについて」 |
| 14:30-15:05 | 松田佑治 | 「同等比較構文における <i>as</i> 節内の形容詞主語の語彙範疇：as happy as happy can be を事例に」 |
| 15:15-15:50 | 西牧和也 | 「名詞修飾構造における形態的表示：「形態的有標性の仮説」と「競合理論」に基づく日英語比較」 |

研究発表第2室

- | | | |
|-------------|--------------|---|
| 13:00-13:35 | Yao, Xiayin | “Time Adverbs in Chinese: Evidence for the Chinese as an Underlyingly Head-Final Language Hypothesis” |
| 13:45-14:20 | Maki, Hideki | 「対比焦点及び後焦点縮約の統語・音韻構造」 |
| 14:30-15:05 | 松本大貴 | 「Partial Control の分析：ラベルと併合の観点から」 |
| 15:15-15:50 | 作元裕也 | 「SAI 再考：ラベル付けの観点から」 |
| | 小池晃次 | |

研究発表第3室

- | | | |
|-------------|-------|----------------------------|
| 13:00-13:35 | 林 慎将 | 「一致と格の所在」 |
| 13:45-14:20 | 前澤大樹 | 「Tough 主語としての日本語の主格目的語」 |
| | 横越 梓 | |
| 14:30-15:05 | 齋藤章吾 | 「随意的移動と経済性条件」 |
| 15:15-15:50 | 村岡宗一郎 | 「知覚動詞の受動態補文に出現する不定詞の通時的研究」 |

研究発表第4室

- | | | |
|-------------|------|---|
| 13:00-13:35 | 北原 匠 | 「WH 疑問文の容認性に対する構文文法アプローチ-前置詞 <i>about</i> を含む完全・縮約関係代名詞構文の意味の違いから-」 |
| 13:45-14:20 | 森 貞 | 「 <i>disinclination</i> を表す言語表現の使い分けの基準について」 |
| 14:30-15:05 | 石川和佳 | 「英語の道具主語構文と日本語の対応構文の共通点と相違点：言語使用の三層モデルの観点から」 |

研究発表第5室

- | | | |
|-------------|------|--|
| 13:00-13:35 | 吉川裕介 | 「to victory 構文の構成性について」 |
| 13:45-14:20 | 西脇幸太 | 「How about let's VP 構文の形と意味：What about との比較を通して」 |
| 14:30-15:05 | 森 敏郎 | 「助動詞 <i>ought</i> の文法化について」 |
| 15:15-15:50 | 衛藤圭一 | 「法助動詞 <i>need</i> に関する一考察」 |

午後（16:00～18:45）公開特別シンポジウム

シンポジウム第1室 「今、英語教育を考えるー英語にかかわる研究の視点からー」

- | | | |
|-------|-------|-----------------------|
| 司会 | 伊藤たかね | |
| 講師 | 長谷川信子 | 「句構造と機能語、主語 vs. 主題」 |
| 講師 | 井上逸兵 | 「いわゆる『AI時代』の英語教育」 |
| 講師 | 阿部公彦 | 「『4技能均等』の限界とその先」 |
| 指定討論者 | 白畑知彦 | 「第二言語習得研究からの英語教育への示唆」 |
| 指定討論者 | 水口志乃扶 | 「脱日本人の英語に向けて」 |

11月14日(日)

午前 (9:30~12:10) シンポジウム

シンポジウム第2室 「Head とラベル付けをめぐって」

司会	奥 聡	
講師	中村早百合	「日本語の複合動詞の主要部」
講師	杉村美奈	「ラベルと形態素の具現化の関係ー動詞連結を中心にー」
	小畑美貴	
講師	奥 聡	「ラベリングとインターフェイス」

シンポジウム第3室 「タスク指向対話データが拓く発話理解と相互行為の言語研究」

司会	吉田悦子	
講師	川端良子	「共有信念の更新と構築：課題達成プロセスに特化する言語表現」
	吉田悦子	
講師	野村佑子	「引用から見る課題達成談話における合意形成場面の相互行為：日英語母語話者の談話データからの一考察」
講師	谷村 緑	「目的指向の多人数・異文化会話コーパスにおけるスタンスの表明と調整ー人称代名詞 I, we, you の相互行為上の役割ー」
講師	土屋慶子	「配信型・伝播型情報共有と再帰的共通基盤：日英救急医療シミュレーションでのリーダーの発話・視線を含むマルチモーダル分析」

午後 (13:10~15:25) 特別講演

特別講演第1室

13:10-14:10	西村義樹	「認知文法との35年」
14:25-15:25	廣瀬幸生	「他者の思いをことばでいかに利用するかー日英語における主観の客体化研究ー」

特別講演第2室

13:10-14:10	時崎久夫	「音韻部門で要素は移動するか」
14:25-15:25	杉崎鉦司	「語彙部門から生じる言語間変異：英語獲得に基づく検討」

特別講演第3室

13:10-14:10	谷口忠大	「記号創発ロボティクスによる実世界言語獲得の展開」
14:25-15:25	中山俊秀	「『周辺の』文法パターンは文法研究をどのように広げてくれるのか」